

第63回徳島県高等学校総合体育大会アーチェリー要項

- 主催** 徳島県高等学校体育連盟 徳島県教育委員会 徳島県アーチェリー協会
後援 徳島新聞社
主管 徳島県高等学校体育連盟アーチェリー専門部
- 1 期 日** 令和5年5月27日（土）
- 2 会 場** 鳴門・大塚スポーツパーク球技場
- 3 日 程** 5月27日（土） 団体競技・個人競技
8：00～ 集合 会場設営
9：00～ 受付 弓具検査
09：30～ 開会式
09：50～ 競技開始 70m（1回目）
11：30～ 70m（2回目）
13：00～ 昼食
13：30～ 団体決勝ラウンド
14：00～ 個人決勝ラウンド
15：30～ 閉会式
- 4 競技規定** （公社）全日本アーチェリー連盟競技規則2022～2023年度および（公財）全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部が定める大会運営規程により実施する。
- 5 競技種目** 競技の種目・種類・種別は次のとおりとする。
(1) 種 目 団体競技・個人競技
(2) 種 類 団体戦においては70m×2回、男女共予選上位6名を1～3位はAチーム、4～6位をBチームとし、決勝ラウンドを行う。
個人戦においては70m×2回のランキングラウンドとし、決勝ラウンドはマッチ戦（トーナメント戦）を行う。
(3) 種 別 男子の部・女子の部
- 6 引率・監督** (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の教職員、もしくは実習主任または実習助手とする。
(2) 監督・コーチ等は、校長の認める指導者とする。また、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）に必ず加入し、その証明書（コピー可）を総体申込用紙に添付することを条件とする。
- 7 参加資格** (1) 徳島県高等学校体育連盟に加盟する学校の生徒であること。
(2) ア 平成16（2004）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
イ 学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。
(3) 転校後6カ月未満のものは参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。但し一家転住などやむを得ない場合は、徳島県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
(4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5) ア. 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同

チームによる大会参加を認める。

イ. 部員不足による合同チーム

(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)

詳細は、本連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規定」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

(6) 分校は専門部規則により単独で参加できるが、全国・四国大会予選に関しては種目別要項による。

(7) 学校教育法第1条に定める高等学校(中等教育学校後期課程を含む)以外の学校については、徳島県高等学校体育連盟会長から参加が認められた者とする。

(8) 学校長が出場を承認した者。

(9) 全校加盟していない学校は、参加生徒1名につき1,300円(登録金800円と高体連部員負担金500円)を徳島県高体連事務局に納入すること。

【大会参加資格の別途に定める規定】

1 学校教育法第72条, 115条, 124条及び134条の学校に在籍し, 徳島県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア 徳島県高等学校体育連盟の活動の目的を理解し, それを尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校, 高等専門学校, 専修学校及び各種学校にあっては, 学齢, 修業年限ともに高等学校と一致していること。また, 広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては, 部活動が教育活動の一環として, 日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており, 活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 徳島県高等学校総合体育大会要項を遵守し, 競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに, 大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては, 責任ある学校の教職員が引率するとともに, 万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど, 万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については, 応分の負担をすること。

7 服装規定 開・閉会式および競技中の服装は, (公財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部が制定する服装規定の範囲とする。

8 表彰 (1) 団体優勝校には優勝旗(男女)・賞状・メダルを授与する。

(2) 個人優勝者および2位~4位には賞状・メダルを授与する。

9 申込方法 所定の申込書2通を令和5年5月2日(火)必着で下記に申し込むこと。

組み合わせ抽選 令和5年5月9日(火)午後 鳴門渦潮高校 渦潮ホール

申込み先

〒770-0006 徳島市北矢三町2丁目1番1号

徳島科学技術高等学校内 徳島県高体連アーチェリー専門部 宛

T E L 088-631-4185

10 その他 参加者（選手・監督・コーチ・大会役員・競技役員等）は、健康と安全を最優先して考え、次に定める遵守すべき事項に従って感染拡大防止について最大限の対応をとること。
開催にあたっては、随時情報を収集して開催の可否を判断するとともに、開催地の都道府県知事からの要請等に基づき、慎重に検討し、対応策が整わない場合は中止または延期する。

- (1) 参加者は、以下の事項を記載した書面を提出すること。
 - 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）
 - 当日の体温
 - 競技会前 2 週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱（おおむね平熱より 1 度以上高い場合）
 - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) マスクを持参すること（行射中を除いて原則マスクを着用すること）。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (5) 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ 1m 以上）を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）。
- (6) 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (7) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (8) 競技終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。
- (9) 来場者は、選手、競技役員、大会役員、補助員と事前に申請登録した監督・コーチおよびメディア関係者等に限定し、無観客とする。
- (10) 弓具検査については、用具の手渡しは行わず、選手は用具を指定場所に置き、審判員が手に取って検査し、終了後、指定場所に戻すこと。
- (11) 参加者が整列しての式典は行わず、参加者はそれぞれ控えテント内で待機し、放送によって行う。
- (12) 表彰式は成績発表のみとし、入賞者への賞状等の授与は終了後、受付にて行う。
- (13) 競技中においては、選手、監督・コーチ、競技役員、メディア関係者等は、適切な距離を意識し、安全な距離を確保するように努めること。
- (14) 選手は、行射中以外、極力マスクを着用すること。
- (15) 監督・コーチ、競技役員、メディア関係者等については、常時マスクを着用する。
- (16) 採点中も、選手同士が適切な距離を確保するように意識し、安全な距離を確保するように努めること。
- (17) 競技中のスコアシートの記入や管理は各選手専属の補助員が行う。スコアシートを挟むバインダー等は共有せず、競技終了まで適切に管理すること。
- (18) 審判員を矢の判定で呼ぶ際には、選手は標的から遠ざかり、安全な距離を確保すること。